

新宮山彦ぐるーぷ第1842回

## 持経宿ソーラー発電装置設置と平治宿巡回(薪運搬など)

◇実施日：平成27年10月25日(日) 快晴

◇参加者； 沖崎吉信、川島 功、児嶋道夫、濱野兼吉、橋本 梓

畑林清子、生熊千満子、中島哲郎、石橋陸子、

奥村順夫。竹中卓治、高階鈴子、高階美根子、

青木宏充、梶野照雄、越野智子。 計16名。

午前8時過ぎに池原のスポーツ公園に到着すると、前日行仙宿泊の青木さんが待っていた。水場の状況などを話していると、新宮組(不動トンネル経由)・尾鷲組が続々と到着する。

沖崎さんから、本日の作業予定の説明があり、池郷林道から持経宿へ向かう。

午前9時過ぎに持経宿に到着。平治宿巡回班12名と、持経宿作業班4名(児嶋・梶野・沖崎・青木)に別れて行動を開始する。



持経宿到着



薪を背負って平治宿へ



ソーラーパネルの設置

平治宿班が、9時25分薪を背負って出発した後、青木さんは

水場の改修、沖崎さんは階下・トイレ前の整備、児島さんと梶野はソーラーパネルの設置工事に別れて作業を始めた。ソーラーパネルは、太陽がよく見える場所を見極めて、屋根の北西に取り付けた。持経宿は周りに大きな木が多く、発電量によっては、日陰を作っている枝の切除が必要になるかもしれない。



持ち帰った記念道標取付け



配線作業



スイッチは正面右手に

屋根のソーラーパネル設置後、取付けビスを防水処理しようとしたが、コーキングガンが見当たらない。仕方なく金槌の柄で押し出してコーキングした。

9月19日に太古の辻から持ち帰った旧記念道標は、正面左手の壁面に取付けた。

青木さんが水場の改修から戻ってきて、毛布棚下を整理、置いてあった物が無くなり、スッキリした。

小屋内の配線作業がほぼ終わり、接続とアースの設置を残す時点で12時となり中断して昼食とした。

発電機を動かして弁当を温めた。これからの時期は、暖かい物を食べるとホッとす。昼食後、12時45分から残りの作業を

開始、アース設置のため薪小屋に下りてみると、トイレ前に置かれていた道具類がきれいに整理され、床面積が広がっていた。

### 平治宿巡回班

冬型気圧となり今季一番の冷え込みとの事から、やはり肌寒い。持経宿の薪置場は満杯であり、平治宿巡回の際に平治宿の薪が少なく運び込む事にした。

竹中君は2束、川島1束半、高階鈴・石橋陸さん以外は、1束担ぐ。2回目参加の越野さんは、背負い子で荷を担ぐのが初体験とのこと。千年松祠で安全祈願。

奥駈道の尾根は、ブナ主体のため黄色の紅葉が多く、この辺りは紅葉の真っ盛りの様だ。薪の荷の重さもあり、それぞれ適宜休憩しながら平治宿に10時40頃に到着。気温が低い事もあり、汗を余りかかずに薪が運べた。



千年松祠前で

紅葉の急坂を辿る

平治宿内で昼食

畑林・生熊・石橋夫妻・高階姉妹・竹中・越野さんは、転法輪岳へ登頂。

橋本・濱野・川島は、薪置場の上段に1棚追加し薪置場を3段に拡張した。その後、水場確認に下りる。水場の水は、全く流れていない。水場の鉄桶内の落葉、流入した石を除く底浚えをする。

水場の鉄桶の左縁が約5mm高いので僅かな水の流れでは、縁下を伝って流れて水が溜まらない事がわかる。次回、縁を伝って流れないようにセメントを煉り、せきを作り防ぐ必要がある。又、水場への段差の木杭は、来春大ハンマーで打ち込み直す必要がある。

平治宿に戻り、奥村氏も加わり、付近の落枝を薪にする作業を一段落した11時半過ぎに、転法輪岳登頂組に戻る。

日当りの良い屋外で昼食し様としたが、風が冷たく宿内で昼食。ストーブの煉瓦が一部傾いており、煙の漏れがないかストーブを焚いたが、問題なく燃焼した。

12時半に平治宿を出発、13時20分持経宿に戻る。



薪置場2段から3段へ

平治宿下山前に撮影

巨木ミズナラの大落枝

(記 川島)

13時45分、ストーブ上のお湯でコーヒを入れて、山上さん差し入れ(白石氏から頂戴)の菓子(おこし)等で休憩。

小屋内外の清掃、散らばった工具を集めて14時50分に持経宿を離れた。

児嶋さん差し入れの蜜柑が余りそうなので、27日新ハイキング(10名)が、岳友3回忌に来宿予約があり、添え書きして蜜柑を机上に置いた。



コーヒーで休憩



下山前の本日作業者



スポーツ公園で終礼解散

### 行動タイム

8:05 スポーツ公園 8:25→9:05 持経宿→9:25 平治宿班出発、  
作業→12:00 昼食 12:45→13:20 平治宿班帰着、13:45 休憩。  
持経宿 14:50→15:35 スポーツ公園(解散)

### 寄贈者

児嶋道夫；ソーラー発電装置機材及び蜜柑10kg。  
白石雅之；菓子箱(おこし)。  
大江加予子；サンダル10足。  
畑林清子；不動堂のシキミ造花。

(記 梶野)